

宣誓する新入生代表の北川さん
 東高校体育館



東高校入学式

金沢学院東高校の入学式Ⅱ写真左下Ⅱは4月7日、同校体育館で行われ、進学総合、スポーツ、美術文化、進学特別の4コースの合わせて313人が希望と期待を胸に、高校生活の第一歩を踏み出しました。

「継続は力」を心に



1日付で就任した木谷辰夫校長は式辞で「心身ともに健康で有意義な高校生活を送ってほしい」と述べました。

飛田秀一学校法人金沢学院理事長は告辞で、米大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手の「努力できることは才能である、という信念で野球をしている」との言葉を紹介し、「くじけそうになっても、『継続は力なり』という言葉を思い出してほしい。あきらめず、頑張ったという自信は、これからの人生のプラスになる」と述べました。

浅井英司後援会長の祝辞に続き、進学特別コースの北川綾莉沙さん（七尾市能登島中出身）が「夢と希望を持ち続け、実現のために努力していきたい」と宣誓しました。



61人乗りの新型バス導入

金沢学院は4月1日、大型スクールバス4台のうち1台を更新しました。写真上Ⅱ。古いバスが導入後だいぶ経過し、老朽化したためです。

新型バスは定員61人。全長12m、幅2.49m、高さ3.25m。運動部の遠征など学生の送迎に使われます。



武腰敏昭氏

武腰氏に日本芸術院賞

金沢学院大教授で4人目

陶芸家で金沢学院大学美術文化学部教授の武腰敏昭氏は先ごろ、2009年度日本芸術院賞に選ばれました。同賞は、日本芸術院が卓越した芸術作品や、芸術の進歩に貢献する顕著な業績があった人に贈る賞

です。金沢学院大学教授で同賞を受賞するのは大樋長左衛門、中路融人、村田省藏の3氏に次いで4人目となります。

昨年の第41回日展に出品した「湖畔（こはん）・彩釉花器（さいゆうかき）」が認められました。造形の新鮮さと、側面に描かれた鳥の絵との調和が高い評価を得ました。

授賞式は5月31日、東京の日本芸術院会館で行われます。

大学・短大で科研費6件
 金沢学院大学、金沢学院短期大学の教員が獲得した平成22年度分の文部科学省の科学研究費補助金は6件、910万円となりました。いずれも継続研究で、大学5件、短大1件となっています。補助金の交付を受ける研究は次の通りです。

- ▽小嶋芳孝・大学美術文化学部教授の「ロシア沿海地方における渤海の考古学的研究」▽佐々木圭一・大学美術文化学部准教授の「氷河期間水期変動に対する造礁サンゴ群集の時空分布変化」▽高田伸彦・大学美術文化学部教授の「俳句・連句を題材にした多面的な表現手法の研究とそのカリキュラムの構築」▽石川温・大学経営情報学部教授の「経済の準静的変化と企業規模を考慮した成長率分布の研究とその応用としてのリスク管理」
- ▽相良多喜子・短大食物栄養学科教授の「子どもの『このころ』の発達に及ぼす食育のあり方に関するコホート研究」▽前川浩子・大学文学部講師の「摂食障害および不健康な食行動の発達に関する研究」